

報告) 社会人教養楽部楽友会運営委員会企画

第3弾 オンライン学習会

エルジービーティーズ

ソジ

「 LGBT's から SOGI の概念へ 」

2月28日(月)10時より、約2時間にわたり、社会人教養楽部楽友会運営委員会企画によるオンライン学習会:「LGBT's から SOGI の概念へ」と題して講演と、質疑応答・ワークショップが開催されました。

講師はボランティア団体: SOGI-Mamii's 代表の高橋愛紀さん。第一部の講演では、多様な性についての基礎知識を、またご自身とご家族のご経験談を聞き、両者の立場や葛藤に思い馳せました。

第二部は社会人教養楽部参加者より事前に寄せられた質問を中心に回答いただきました。社会人の皆さんからは、トイレの利用について、日本の法整備の進行状況、小中高校の教育現場での理解の浸透などについて質問がありました。

法整備の代わりに各自治体で広まりつつあるパートナーシップ制度と法には敵わないその限界、教育現場での多様な性を大人や子どもが理解する上での注意点や理解への広まりを阻むもの、トイレ問題など、「知ることから理解が始まる」という印象の勉強会。実は自分の恋人や夫婦のことを「パートナー」という言葉を使うことで、「性の多様性に理解のある人」という目線が向けられ、現状、葛藤も多い少数派の人にとっては話しかけやすくなるそうですよ。

性差に由来する日本の慣習やこれまでの社会通念を引いてものを見る視点から、方向をちょっと切り替えて、世界視点で今後必要な概念を学び考え始めてみた。自分の持つ性を気にすることなくどんな人も自由にいられるように、こんな場合はどうしようかと考えてみる、その一歩。それが今回の勉強会と言えるでしょう。

「LGBT(エルジービーティ)を知って2・3年なのに最近ではQ(キウ)がつく。付いていけないと思ったら新しくSOGI(ソジ)を知った。自分事と思えた。向こう側のことではない。自分も該当する、人間なんだ！」
(受講生の感想より)

